



by HARMAN

REFLECT FLOW

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

- 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
- 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- 分解してはいけないことを示す記号です。
- 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
- 触れてはいけないことを示す記号です。
- 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
- 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
- AC電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

警告

- ① 煙が出る場合、異常なおいや音がある場合は、すぐに電源を切る。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
- ② 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。
- ③ 本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ④ アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くで使用しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- ⑤ 分解や改造をしない。感電の原因になります。
- ⑥ 調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所では使用しない。火災・感電の原因になります。
- ⑦ 交通安全のために自転車やバイク、自動車の運転中に本機を使用しない。周囲の音が聞こえにくくなるため、交通事故の原因となります。
- ⑧ 歩行中、交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。交通事故の原因となります。

注意

- ① ほこりや湿気が多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。
- ② 薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

電池についてのご注意

- ① 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
 - 液が漏れたとき
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
 - 液が目に入ったとき
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 液が体や衣服についたとき
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
- ② 電池について以下のことに注意する。
本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
 - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
 - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 所定の時間を超過しても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- ・ 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ・ ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- ・ テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- ・ 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- ・ 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ・ 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解 / 改造すること。
- ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがしたり表示を消すこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。



▶ 本機の防水性能について

本製品のイヤピース本体は、防水規格IPX7相当の仕様となっております。一時的に一定水圧の条件に水没しても内部に浸水することがない「防浸形」です。

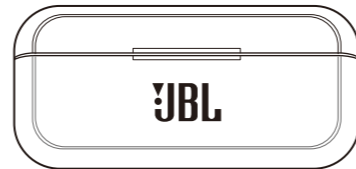
※ 完全防水ではありませんので水中では使用しないでください。

- ※ 本機に付属の充電ケース、充電用ケーブルは防水仕様ではありませんので水がかかる恐れのある場所で使用しないでください。
- ※ 充電ケースは防水ではありません。
- ※ 万一、水没後に動作異常がみられる場合は、使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は、保証対象外となりますのであらかじめご了承ください。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

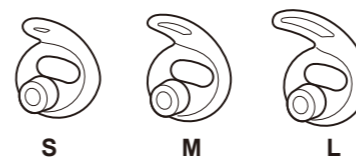
□ 充電ケース



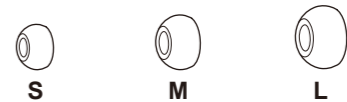
□ USB 充電用ケーブル：長さ約 17cm



□ スタビライザー(Sサイズ/Mサイズ/Lサイズ、Mサイズ装着済み)



□ イヤチップ (Sサイズ/Mサイズ/Lサイズ各1ペア) (Mサイズ装着済み)



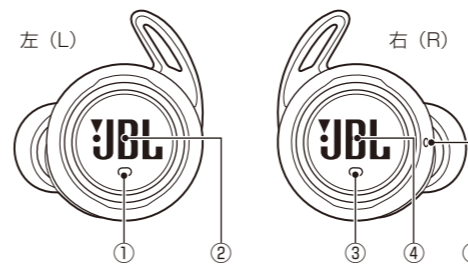
□ クイックスタートガイド

□ 保証書

□ 安全シート

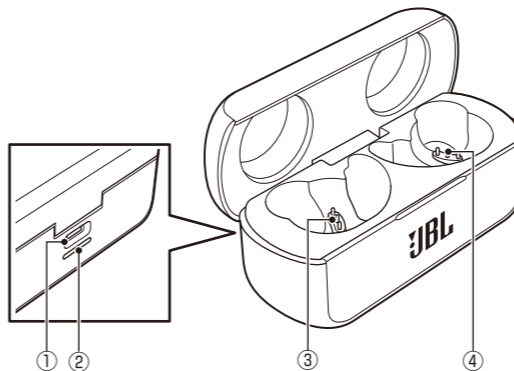
各部の名称

▶ イヤピース



- ① ステータスインジケータ
電源オン / オフや充電中 / Bluetooth 接続中などの状態を示します。
- ② 左イヤピースボタン
左イヤピースの電源オン / オフや、以下の操作をするときに押します。
 - ・ 次の曲へスキップする
 - ・ 音楽再生時に一時的に音量を下げる（トークスルー）
 - ・ 音楽再生時に周囲の音を聞きやすくする（アンビエントアウェア）
- ③ ステータスインジケータ
電源オン / オフや充電中 / Bluetooth 接続中などの状態を示します。
- ④ 右イヤピースボタン
右イヤピースの電源オン / オフや、再生の制御やハンズフリー通話の操作をするときに押します。
 - ・ ボイスアシスタントを起動する
- ⑤ マイク

▶ 充電ケース



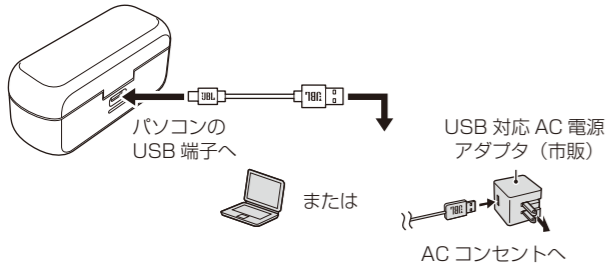
- ① USB 端子
 - ② 充電インジケータ
 - ③ 左イヤピース充電部
 - ④ 右イヤピース充電部
- ※ イヤピースの収納時は、充電ケースに水平に収め、充電部に確実に接触するようにしてください。

充電する

▶ 充電ケースを充電する

付属の充電用ケーブルを使って充電します。

- ① 充電ケースの USB 端子に充電用ケーブルを接続する。
- ② 充電用ケーブルを、お手持ちのパソコンの USB 端子に接続する。または、市販の USB 対応 AC 電源アダプタを使用して、コンセントに接続します。



充電が進むごとに充電インジケータが次々と点灯していきます。(一番右のインジケータは点滅します。) 満充電になると、4つのインジケータがすべて消灯状態になります。充電が完了したら、充電用ケーブルを外してください。

▶ イヤピースを充電する

左右のイヤピースを、充電ケースのイヤピース充電部に載せます。軽く載せるだけで、マグネットによりしっかり固定されます。イヤピースの電源が入っていた場合やお使いのデバイスと Bluetooth で接続されていた場合でも、自動的に電源がオフになり Bluetooth 接続が解除されて充電が始まります。

※ 充電のためにイヤピースを充電ケースに収納するときは、ケースに水平に収めてください。正しく固定されるとイヤピースのステータスインジケータが赤色に点灯します。

充電時間は約 2 時間*です。

※ それぞれのイヤピースの充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

充電状態を確認する

充電中は、イヤピースのステータスインジケータが赤色に点灯します。

充電が完了すると

左右のイヤピースの充電が完了すると、イヤピースと充電ケースの充電インジケータが消灯します。

※ すでにお使いのデバイスと Bluetooth のペアリングを行っている場合は、イヤピースを充電ケースから取り外すだけで自動的に電源がオンになり、そのまま待つとデバイスとの Bluetooth 接続が完了します(接続中はステータスインジケータが青色で点滅します)。Bluetooth のペアリングについては「Bluetooth 接続を行う」をご覧ください。

装着する

左 (L) と右 (R) を間違えないよう、正しく装着します。(L) と (R) の表示は、スタビライザーのイヤチップ取り付け付近にあります。

ご注意

イヤピースのボタンには指を当てないようにして装着してください。装着時にボタンを押すと、ボタンの機能が働いて予期せぬ動作の原因となる場合があります。

電源を入れる / 切る

▶ 電源を入れる

左右のイヤピースは、それぞれ独立して電源をオンにすることができます。

ただし、右イヤピースからしか再生音が聞こえないなど思わぬ動作を防ぐために、電源オンの操作は左右のイヤピースを同時に行ってください。

左右のイヤピースのボタンを約 3 秒以上押し続けます。



ステータスインジケータが青色で 2 回点滅し、電源がオンになります。(イヤピース装着時は、電子音が聞こえます。)

お買い上げ後はじめて電源を入れた場合：

電源がオンになるとともに、そのまま待つと右イヤピースのステータスインジケータが赤色と青色で交互に点滅し、Bluetooth のペアリング設定状態になります。

詳しくは「Bluetooth 接続を行う」をご覧ください。

すでに Bluetooth 対応デバイスとペアリング済みの場合：

電源がオンになるとともに、そのまま待つと Bluetooth デバイスと自動的に接続します。接続中は、左右のイヤピースのステータスインジケータが青色でゆっくり点滅します。

※ Bluetooth 対応デバイスの「Bluetooth」が「オン」になっている必要があります。

▶ 電源を切る

右のイヤピースのボタンを約 5 秒以上押し続けます。



ステータスインジケータが赤色で 2 回点滅し、左右のイヤピースの電源がオフになります。(イヤピース装着時は、電子音が聞こえます。)

左イヤピースだけオフにする

左のイヤピースのボタンを約 5 秒以上押し続けると、ステータスインジケータが赤色で 2 回点滅します。

この場合は、左イヤピースだけがオフになり、右イヤピースはオンのままです。右イヤピースだけ使って Bluetooth デバイスの再生音をモノラルで聞くことができます。

もう一度長押しすると再び接続します。

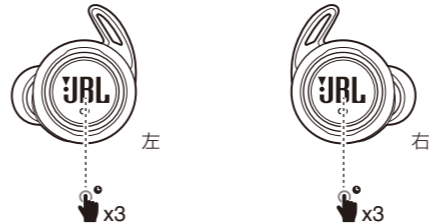
Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 左右それぞれのイヤピースのボタンを 3 回押す。



左右のイヤピースのステータスインジケータが青色で 2 回点滅し、電源がオンになります。そのまましばらく待つと、右イヤピースのステータスインジケータが赤色と青色で交互に点滅し、Bluetooth のペアリング設定状態になります。

- ② デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。ペアリングが完了すると、右イヤピースから電子音が聞こえ、右イヤピースのステータスインジケータが数回青色でゆっくり点滅します。

iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスの一覧から「JBL REFLECT FLOW」を選択する。接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：

- ① 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します)。
 - 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
 - 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も併せてご覧ください。

その他のデバイス(携帯電話・スマートホン・オーディオプレーヤーなど)の場合：

- ① ペアリング設定状態にする。接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します)一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。ペアリングが完了すると、右イヤピースから電子音が聞こえ、右イヤピースのステータスインジケータが数回青色でゆっくり点滅します。

ご注意

- Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- 以下の場合、Bluetooth 接続に障害を起こす場合があります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。故障ではありません。使用環境を変えてご使用ください。
 - 多数の無線 LAN 機器があるところ、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

▶ 基本操作

Bluetooth 接続中は、左右イヤピースのボタンで以下のコントロールを行うことができます。

音量の調節は、接続したデバイス側で行ってください。



再生と一時停止

右ボタンを押すごとに再生 / 一時停止します。

曲送り

左ボタンを 2 回押すと次の曲にスキップします。

ハンズフリー操作

右ボタンは携帯電話・スマートホンで Bluetooth でハンズフリー接続しているときは、ハンズフリーボタンになります。

- 着信中に 1 回押すと電話を受けめます。
- 通話中に 1 回押すと電話を切ります。

▶ Bluetooth 接続を解除する

デバイス側で Bluetooth を「オフ」にし、接続を解除します。

▶ 別のデバイスと新たにペアリングする

別のデバイスをペアリングしたい場合は、左右のイヤピースの電源がオフの状態から右イヤピースのボタンを約 5 秒以上押し続けてペアリング設定状態にします。その後、接続したいデバイスでペアリングの操作をしてください。

▶ 左イヤピースが右イヤピースから切断されたとき

以下のように操作して、左右のイヤピースを再接続します。まず、左右のイヤピースの電源がオンになっていることを確認してください。

- ① 右イヤピースのボタンを 3 回続けて押す。
- ② 続いて、左イヤピースのボタンを 3 回続けて押す。左右のイヤピースが再接続されると、それぞれのイヤピースのステータスインジケータが同時に青色で 3 回ゆっくり点滅します。

装着したまま会話する（トークスルー機能）

Bluetooth 接続でデバイスの再生音を聞いているときに左イヤピースのボタンを 1 回押しと、電子音が聞こえるときに一時的に音量が下がります。本機を装着したまま周囲の音が聞きやすくなり、会話することもできます。



左イヤピースのボタンを 1 回押しと電子音が聞こえアンビエントアウェア機能がオンになります。もう一度 1 回押しと、元の音量に戻ります。

ボイスアシスタント機能

iPhone・スマートホン Bluetooth でハンズフリー接続しているときに右イヤピースのボタンを 2 回押しします。



お使いのデバイスの Siri などのボイスアシスタント機能が起動します。もう一度 2 回押しと、音楽に戻ります。

周囲の音の聞きやすさを切り替える（アンビエントアウェア機能）

Bluetooth 接続でデバイスの再生音を聞いているとき、周囲の音の聞きやすさのオン / オフを切り替えることができます。

オン：周囲の音が比較的聞きやすい状態です。
オフ：周囲の音が比較的聞きにくい状態です。

左イヤピースのボタンを 1 回押しと電子音が聞こえトークスルー機能になります。もう一度 1 回押しと、電子音が聞こえるときにアンビエントアウェア機能がオンになります。

オフにするには、左イヤピースのボタンをもう一度 1 回押しと、元の音量に戻ります。

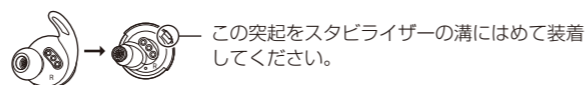


周囲の音にも注意を払いたいときなど、条件に応じてオン / オフを切り替えてください。

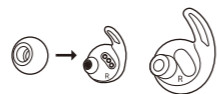
スタビライザー / イヤチップを交換する

使用中のイヤチップとスタビライザーを取り外し、使用したいスタビライザーとイヤチップを以下のようにして取り付けます。

① 使用するスタビライザーを取り付ける。



② 使用するイヤチップを取り付ける。



電話の着信を受ける

iPhone・スマートホン Bluetooth でハンズフリー接続しているときに、着信を受けることができます。

着信中に右イヤピースのボタンを 1 回押しと電話を受けます。通話中に右イヤピースのボタンを 1 回押しと電話が切れます。電話が切れるとともに元の音量に戻ります。



トラブルシューティング

症状	解決法
イヤピースの電源が入らない。	イヤピースが充電されているかご確認ください。
イヤピースを充電できない。	充電ケースが充電されているかご確認ください。
電源は入るが再生している音楽が聞こえない。	Bluetooth デバイスと Bluetooth で接続されているかご確認ください。
	Bluetooth デバイスの音量をご確認ください。
	Bluetooth デバイスの再生が一時停止になっていないかご確認ください。
	SCMS-T 非対応につき、ワンセグの音は出ません。
右のイヤピースからしか音が聞こえない。	左のイヤピースの電源がオフになっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

主な仕様

タイプ	密閉ダイナミック型 Bluetooth ワイヤレス
周波数特性	20Hz - 20kHz
Bluetooth	5.0
伝送範囲	Class2 (通信距離約 10m、障害なきこと)
対応プロファイル	A2DP 1.3; AVRCP 1.5; HFP 1.6
イヤピース電池	リチウムイオン充電電池
イヤピース充電時間*	約 2 時間 (空から満充電まで)
イヤピース連続使用時間 (音楽再生時) *	約 10 時間
充電ケース充電時間	約 2 時間
充電ケース (満充電) によるイヤピース充電可能時間	約 20 時間 (急速充電対応に 10 分充電で 1 時間再生可能)
重量	イヤピース：左右各約 8g (イヤチップ、スタビライザー装着時) 充電ケース：約 73g

※・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。充電・再生時間は使用環境によって異なります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたり、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

▶ 本機の廃棄について



本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。

リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jp.jbl.com/support-product.html>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2019 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.